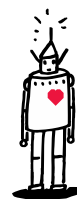


2022年4月5日

日韓IPコーディネート専門チーム(J-KIP)、日本マンガIP『ソウルリヴァイヴァー』を韓国でOTTドラマ開発始動！

韓国映画『犯罪都市』を制作したB.A.エンタテインメントがグローバルOTT実写化。



株式会社ロボット(本社:東京都渋谷区 社長:長瀬俊二郎、以下「ROBOT」)は、日本と韓国のIPコーディネート業務を目的とした専門チーム「Japan-Korea IP Coordinate Team (通称 J-KIP:ジェイキップ)」が、ヒーローズ刊『ソウルリヴァイヴァー』(藤沢とおる・秋重学)を原作に、韓国の制作プロダクション B.A.エンタテインメントとともに、OTTドラマ化開発を進めていくこととなりましたので、お知らせいたします。

『ソウルリヴァイヴァー』は、平成24年1月から平成27年1月まで「月刊ヒーローズ」にて連載された原作・構成・キャラクターデザイン 藤沢とおる、作画 秋重学によるSFアクションコミックです。本作品は、無になる前に魂を連れ帰ることができれば、死んだ人を生き返らせることができる死と無の狭間「死界」で繰り広げられる「魂」の救済(サルベージ)を、大人気マンガ『GTO』の藤沢とおる氏がプロデュースを行い、秋重学氏が作画を務める痛快ファンタジーアクションです。なお、セカンドシーズンとなる『ソウルリヴァイヴァー-SOUTH』もヒーローズにて刊行されています。本件を機に、ヒーローズとROBOTは同社作品の韓国映像化を積極的に進めてまいります。

今開発は、2021年10月にオンライン開催された映像産業振興機構VIPOによる韓国映像制作会社と日本のIP保有企業とのビジネスマッチングからスタートしました。ROBOTのJ-KIPが、双方の指向を調整し締結に結び付け、ROBOTの小出真佐樹プロデューサーがアソシエイトプロデューサーとして作品の完成まで参加します。

本ドラマの開発を行う韓国のプロダクションは、韓国で多様な商業映画、OTTシリーズを手掛けるプロダクション、B.A.エンタテインメント。代表作に2016年『トンネル』(主演:ハ・ジョンウ)、2017年『犯罪都市』(主演:マ・ドンソク)、2018年『藁にもすがる獣たち』(主演:チョン・ドヨン)、2019年『悪人伝』(主演:マ・ドンソク)、2021年Netflix『キングダム アシンの物語』(主演:チョン・ジヒョン)の他、今後『ボストン1947』(主演:ハ・ジョンウ)、『犯罪都市2』(主演:マ・ドンソク)などの公開も待機しています。



©Tohru Fujisawa Manabu Akishige 2012

ROBOTは、ここ5年で韓国IPの日本映画化、日本IPの韓国映画化、演劇公演化を成立させました。2022年には、撮影確定作品が3作品、開発中作品が18作品控えています。

●ROBOTによる「日韓IP案件」過去実績

▶日本IPの韓国映像化、演劇公演化作品

2017年	原作：上田誠(ヨーロッパ企画)「曲がれ！スプーン」ミュージカルリーディング 劇場：大明文化工場
2017年	原作：畑澤聖悟「親の顔が見たい」韓国映画化（2022.4.27韓国拡大公開） 監督：キム・ジフン 主演：ソル・ギョング、ムン・ソリ、チョン・ウヒ
2018年	原作：五十嵐大介(講談社)「リトル・フォレスト」韓国映画化（2018.2韓国公開） 投資・配給：メガボックスプラスエム 監督：イム・スルレ 主演：キム・テリ、リュ・ジュンヨル、ムン・ソリ
2019年	原作：西田征史「泥棒役者」韓国演劇化 劇場：忠武アートセンター中劇場ブラック
2020年	原作：曾根圭介(講談社)「藁にもすがる獣たち」韓国映画化（2020.2韓国公開） 投資・配給：メガボックスプラスエム 監督：キム・ヨンフン 主演：チョン・ウソン、チョン・ドヨン、ペ・ソンウ
2022年	原作：志駕晃(宝島社)「スマホを落とただけなのに」韓国映画化(現在仕上げ中) 投資・配給：GJエンタテインメント 監督：キム・テギユン 主演：チョン・ウヒ、イム・シワン、キム・ヒウオン

以降、2022年撮影確定3作品、開発中18作品待機中

▶韓国IPの日本映像化制作、書籍化コーディネート作品

2017年	原作：「殺人の告白」(SHOWBOX)日本映画化 「22年目の告白—私が殺人犯です—」(2017.6公開) 幹事：日本テレビ 配給：ワーナー・ブラザーズ映画 監督：入江悠 主演：藤原竜也・伊藤英明
2019年	原作：「ブラインド」(N.E.W /MoonWatcher)日本映画化 「見えない目撃者」(2019.9公開) 幹事・配給：東映 監督：森淳一 主演：吉岡里帆
2021年	「愛の不時着」写真集(幻冬舎)

以降、開発中2作品待機中

▶日本IPのオール韓国ロケ映像化、コーディネート作品

2021年	原作：前川知大(イキウメ)「聖地X」オール韓国ロケによる日本映画化 「聖地X」(2021.9公開) 企画：ROBOT 配給：GAGA・朝日新聞社 共同制作：B.A.エンタテインメント 監督・脚本：入江悠 出演：岡田将生・川口春奈
-------	---

●ROBOT日韓IP専門チーム J-KIP問い合わせ先

担当：小出真佐樹

Mail：jkip@robot.co.jp

特設サイト：<https://www.robot.co.jp/special/jkip/>

■株式会社ヒーローズについて

原作を刊行している、ヒーローズはマンガ配信サイト「コミプレ」(<https://viewer.heros-web.com/>)の運営、コミックスの刊行を行っている出版社。4/5にコミックス18巻が発売し4/14よりNetflixにてアニメSeason2が配信開始する『ULTRAMAN』を始め、第25回文化庁メディア芸術祭マンガ部門 新人賞受賞作品の『転がる姉弟』、世界的話題作『ニワトリ・ファイター』などを連載しており、今後とも続々と新連載開始予定。

■「ROBOT」について

所在地:東京都渋谷区恵比寿南3丁目9番7号

代表者:代表取締役社長 長瀬俊二郎

事業内容:エンタテインメントおよび広告コンテンツの企画・制作事業(映画/TVCM/アニメーション/ゲーム等)

URL:<https://www.robot.co.jp/>

■本ニュースリリースならびに取材に関するお問い合わせ先

株式会社ロボット 経営企画本部 (広報担当):新澤彰子 TEL:03-3760-1064 Mail:press@robot.co.jp
